

TCFDの対応状況

	TCFD提言の対応状況
ガバナンス	<p>当社では、C S R 委員会が全社のリスクを横断的に総括し、必要に応じて支援・提言を行っております。具体的には、年 1 回、管理本部にてリスクの洗い出しと評価を行い C S R 委員会に報告し、さらに取締役会に報告され、重要なリスクについては有価証券報告書で開示しております。また、全取締役出席の下、年 2 回開催されるグループ全社の年度計画のヒヤリングや月例の取締役会において、各事業体からビジネス環境の変化を踏まえたリスクと機会についても報告されております。</p> <p>これらの報告の中で気候変動に関連するリスクや機会についても取り上げられ、適宜議論されております。</p> <p>なお、TCFD提言に沿った戦略、リスク管理、指標と目標等に対するガバナンス体制は、今後社内で検討していきます。</p>
戦略	<p>気候変動関連を含むリスクと機会については、C S R 委員会、年度計画ヒヤリング、取締役会等において報告・議論されておりますが、TCFD提言に沿ったシナリオ分析等については今後の課題と考えております。</p> <p>今後、リスクと機会の重要性評価・分析を行ったうえで優先順位の高いものを特定し、全社または事業部の戦略、取り組みに反映させることを検討していきます。</p>
リスク管理	<p>現状、「ガバナンス」の項に記載した通り、C S R 委員会、年度計画ヒヤリング、取締役会等においてリスクとして報告されております。</p> <p>気候変動に関する重要なリスクの管理プロセスについては検討中であり、今後開示を検討していきます。</p>
指標と目標	<p>気候変動の評価指標に関しては今後検討していきます。また今後、温室効果ガス排出量等について実績値や目標値の開示を検討していく予定です。</p>